

# News Letter

2009SPRING  
VOLUME  
09  
春 号



第6回技術講座  
クリエイション・コア東大阪  
(大阪府東大阪市)



大崎八幡宮  
(御社殿)  
宮城県仙台市青葉区



総本山 四天王寺  
(六時堂)  
大阪府大阪市天王寺区



春の息吹が日本中に新しい季節の到来を感じさせてくれる今日この頃となってまいりましたが、皆様方はいかがお過ごしでしょうか？ この金研大阪センターも大阪府商工労働部や大阪府立大学との連携の中で四年目を迎えることができ、気持ちを新たに前進していこうと思います。

さて米国に端を発する昨今の経済危機は世界中がインターネットで繋がっているのと同様に、我々の生活も日常的なレベルで世界と密接な関係にあることを教えてくれました。この意味では地球と地球上に住むすべての生物と自然環境は一つの生命体であるとするガイア理論の考え方方がひと足早く人間の文明社会にリアルタイムで浸透してきているのかもしれません。これまでの人類の発展は自然の有する浄化作用に頼った産業の進歩によってなされてきました。しかしそれが地球の持つ自己修復性をはるかに越えたものであることがオゾンホールや地球温暖化など様々な観点から明白なものとなり、さらに世界的な人口増加がこの流れに追い討ちをかけているのが現代社会の抱える課題でしょう。

一方、材料は文明を支える科学技術のピラミッドの底辺にあり、私共が研究対象としているものだけでも、触媒材料による環境負荷の低減といった直接的なものばかりではなく、自動車に用いられる軽量高強度材料による省エネ、タービン用耐熱材料による発電効率の改善など、どれをとっても文明の持続可能な発展と無縁なものはありません。

現在、地球環境問題は貧困や紛争などと並んで主要な国際的社会問題の一つと位置づけられています。私共大阪センターの活動も小さいものかもしれません、一人ひとりのスタッフは“Think Globally, Act Locally！”の精神で個々の研究課題に挑戦しています。これらを产学研連携という形で具現化できれば、私どもにとってそれに優る喜びはありません。今年度もご指導ご鞭撻の程、どうかよろしくお願ひいたします。





